

中国電力株式会社 島根原子力発電所 1号炉及び2号炉において用いた資材に含まれる放射性物質の放射能濃度の測定及び評価方法に関する審査会合でのコメントリスト

No.	コメント内容	受領日	回答状況	回答資料
1	審査基準の要求事項に対する結果だけでなく、結果を導き出す根拠、過程を説明すること。その際、公開されている他事業所の既認可内容を参考にすること。	令和2年6月26日 令和2年9月7日	後日回答	—
2	拡張不確かさについて1に切り上げている根拠を説明すること。	令和2年6月26日	本日回答	資料2-1
3	模擬線源で評価した安全率と不確かさ評価の安全率の関係を明確にすること。	令和2年6月26日	本日回答	資料2-1
4	検出限界値を求めるに当たっては、安全率の寄与を説明すること。	令和2年6月26日	本日回答	資料2-1
5	汚染メカニズム（原子炉の運転状況等を踏まえた二次的な汚染の履歴、機構）及び計算に用いたパラメータの選定理由を説明すること。	令和2年6月26日	第4回審査会合（令和2年9月7日）にて説明	資料1-1
6	放射化汚染の検討結果について、原子炉冷却材中の O-17 が、炉心部において放射化され生成される N-17 による放射化汚染の影響も踏まえた検討結果を説明すること。	令和2年6月26日	第4回審査会合（令和2年9月7日）にて説明	資料1-2
7	検認後のクリアランス対象物が汚染のおそれのある場所を通過する可能性があることについて、追加汚染が発生しない方法を説明すること。	令和2年6月26日	本日回答	資料2-3
8	B区域の中にA区域を設定する方法及び考え方について説明すること。	令和2年6月26日	本日回答	資料2-2
9	測定装置の性能確認においてクリアランスレベル近傍の模擬線源を用いた確認結果を説明すること。	令和2年6月26日	後日回答	—
10	データ処理における不確かさについて放射能濃度を求める計算過程を明確に説明すること。	令和2年6月26日	本日回答	資料2-1

No.	コメント内容	受領日	回答状況	回答資料
11	放射化汚染の計算結果が、 $\Sigma D/C$ が十分小さいため放射化の影響はないと評価しているが、二次的な汚染との比較を行うこと。	令和2年9月7日	後日回答	—
12	放射化汚染の評価において、対象核種が幅広く選定されるよう合理的な入力条件を設定していることを示すこと。	令和2年9月7日	後日回答	—
13	二次的な汚染の評価において、対象核種を幅広く選定するという観点から、評価モデル、計算式およびパラメータ設定値がそれぞれ妥当に設定されていることを説明すること。	令和2年9月7日	後日回答	—
14	二次的な汚染の評価において、サイクル毎に算出した放射能の減衰について説明すること。	令和2年9月7日	後日回答	—

以 上